

スポーツ振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

スポーツ振興課長 石丸健一

重点事業の概要〔事業名：スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実〕〔目標値：フィッ鳥栖会員数500人〕

○この事業は、リープロ11の2-⑤、6-④に位置付けられた取組みスポーツを「する・楽しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図るために実施する事業です。具体的には、各種スポーツ教室・大会の開催、総合型地域スポーツクラブ（フィッ鳥栖）の支援、全国大会出場費の助成、サガン鳥栖の支援、地域交流推進事業の推進を実施します

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	地区スポーツ教室、青少年体力づくり推進事業、ユベントスユース国際親善試合のおもてなし事業を実施。全国大会出場費補助金は5件24人に助成しました。また、基本毎月1回サガン鳥栖・県プロ協議会（オブザーバー）と連携会議を開催し、意見・情報交換を行っています。
	自己評価	各種教室等は体育協会加盟団体やスポーツ推進委員の協力を得て、開催できました。サガン鳥栖支援について、アクションプラン Ver. 2014 に基づき円滑に実施できています。
	下半期への対応	今後も、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員と連携して取り組みます。また、サガン鳥栖支援については、連携会議を基本に相互理解・共調に努めて参ります。
下半期	取組実績	クロスロード・スポーツレクリエーション祭、祝成人ロードレース大会、スポーツレクリエーション祭等の大会を実施。全国大会出場費補助金は9件34人に助成しました。また、サガン鳥栖・県プロ協議会と連携会議を開催し、意見・情報交換を実施しました。
	自己評価	各種大会等は体育協会加盟団体やスポーツ推進委員の協力を得て、開催できました。サガン鳥栖支援について、アクションプラン Ver. 2014 に基づき円滑に実施できました。
	目標値の達成状況	本年度のフィッ鳥栖会員は255人でした。
	次年度への対応	引き続き、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員と連携して取り組みます。また、サガン鳥栖支援については、連携会議を基本に情報共有・共調に努めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

スポーツ推進委員や種目団体等の関係者との連携を深めること、サガン鳥栖支援については、(株)サガンドリームスとの情報交換、情報共有に努めること

下半期

ロードレース大会等のスポーツイベントについては、スポーツ推進委員や種目団体等の関係者に協力により円滑に実施できており、今後も連携強化に努めること。

スポーツ振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

スポーツ振興課長 石丸健一

重点事業の概要〔事業名：文化芸術・スポーツ施設の整備・利用促進〕〔目標値：体育館トレーニングルーム利用者数1万人〕

○この事業は、リープロ11の6-⑤に位置付けられた取組み文化芸術・スポーツ施設の整備・利用促進を図るために実施する事業です。具体的には、スポーツ施設の計画的改修、スタジアムの大規模改修、スポーツ施設の合理的・機能的な運用を実施します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	体育施設営繕工事5件を完了、現在、スタジアム（芝・夜間照明・空調）3件を施工中。また、スタジアム4件・体育館等14件の18件の修繕を実施済。
	自己評価	概ね予定に沿った業務・工事発注ができています。修繕についても、迅速な対応に努めています。
	下半期への対応	早期の工事発注・完了に努めます。特にスタジアム大規模改修事業は、サガン鳥栖のACL出場も視野に入れながら推進します。ネーミングライツについては、継続していただけるよう日頃からの誠実な対応を行います。
下半期	取組実績	年間で体育施設工事17件、修繕はスタジアム6件・体育館等44件の計50件を完了しました。また、ネーミングライツは継続していただきました。
	自己評価	予定に沿った工事を実施しました。修繕については、概ね迅速な対応が図れました。
	目標値の達成状況	体育館トレーニングルームは年間延べ約1万1千人の方が利用されました。
	次年度への対応	安全性を第一に、気持ちよく使っていただけるスポーツ施設の管理運営に努めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

スタジアム改修事業については、Jリーグ公式戦等試合運営に支障をきたさないよう十分な調整に努めること

下半期

ネーミングライツの継続契約もいただき、スタジアムの施設管理はもとより、今後とも体躯施設の管理運営には、安全確保を念頭に、適正な維持管理に努めること。

スポーツ振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

スポーツ振興課長 石丸健一

重点事業の概要〔事業名：文化芸術・スポーツを担う人材・団体の育成・支援〕〔目標値：スポーツセミナー開催4回40人〕

○この事業は、リープロ11の6-⑥に位置付けられた取組みスポーツを担う人材・団体の育成・支援のために実施する事業です。具体的には、・鳥栖市体育協会の支援、スポーツ推進委員会の支援を実施します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	体育協会の総会を始めとする各種会議を支援し、県体に向け選手・練習の強化を要請しました。改選期であったスポーツ推進委員は、スムーズな改選ができました。また、毎月の定例会、地区スポーツ教室及び実技研修会の開催を支援しました。
	自己評価	土・日・祝の対応などの利点を活用しながら、スポーツ団体等の相談・支援に努めています。
	下半期への対応	スポーツの推進を図るためには、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員の協力は不可欠であり、連携して取り組むためにも、支援・育成に努めます。
下半期	取組実績	体育協会の各種会議を支援するとともに、県体に向けた選手・練習の強化を支援し、大会当日の激励を実施しました。スポーツ推進委員会の毎月の定例会や研修会の開催を支援しました。
	自己評価	体育協会・種目競技団体の奮闘により県体は前年度から順位を上げ、4位となり成果がみられました。
	目標値の達成状況	指導者を対象としたスポーツセミナーを開催し、38人の参加を得ながら人材育成に努めました。
	次年度への対応	体育協会・種目競技団体やスポーツ推進委員と連携してスポーツ振興に取り組むために、引き続き支援・育成に努めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

定例会議や研修会等を通じ、スポーツ団体やスポーツ推進委員の支援・育成に努めること

下半期

今後とも、体育協会との連携のもと、スポーツ推進委員の支援・育成に努めること。